

## 高齢者の交通事故とその傾向

湯浅警察署交通課 吉本 節男 課長



最近のニュースで高齢者の運転する自動車による交通事故の映像がよく放送されています。自分自身も年を重ねるごとに運動能力や反射神経が鈍り、不安がよぎるようになってきています。そこで和歌山県内高齢者の交通安全について湯浅警察署の吉本課長からお話をうかがいました。和歌山県下の交通事故の状況は1日で人身事故が約5件、物損事故が約70件だということです。この数が多いとみるか少ないとみるか……。

交通事故は身近なものということを確認することが大切ということでした。

中でも印象に残ったのは、運転免許を保有する人の数に占める高齢者の割合と交通事故の割合は、ほぼ同じ程度だけれど、死亡事故の割合が高齢者67%と圧倒的に高いということでした。日常生活の中で、自動車や自転車の運転にはもっと気を付けようと思えるお話でした。

## 鷹島遺跡とその時代

紀伊風土記の丘 富加見 泰彦 先生

富加見先生から「鷹島という名前」がたまらなくいい。その理由は先生自身が南海ホークスの大ファンであることと、鷹島の形がホークスのマークに似ていることがその理由だそうです。

話は鷹島遺跡を含めた海部郡（和歌山市～日高）に住む海の民（海人）が航海術にたけた人たちで、塩つくりの技術を持ち、縄文時代（4000年～5000年前頃）鷹島に人が住み始めた。その頃の土器、石器が遺跡から発見され、模様や形状から他のものとは違うので、鷹島式土器として風土記の丘に保管されている。土器から鷹島でも塩つくりがされていた様子が見え、初島の地島では砂浜の石棺から14体の人骨が出てきたということでした。海人が海岸線に住み魚を取り、塩つくりをして生活していたということでした。最後に、津波堆積物などの調査により大局的には100年～200年間隔で大地震が発生し、1361年天平地震以後間隔は90年～150年となっている。地震・津波は繰り返されるということが考古学上でも物語られていることがわかりました。



## 講義の感想いろいろ

今年特に話題になっている高齢者の交通事故。アクセルとブレーキの踏み間違いや注意不足など、危険は身近にあるということがよくわかりました。

運転免許を返納しました。不便さは感じるけれど、家族は安心したみたいです。自転車で走っていると車の風圧でよろけそうになることがあり、自動車より危険を感じる場合があります。

お話を聞く中で、交通事故の様子がよくわかりました。自分も今まで以上に運転には気を付けようと思いました。



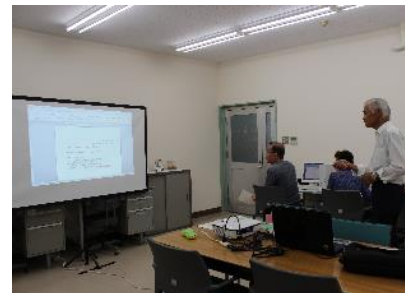
西広の浜から見る鷹島にそんな秘密（歴史）があったなんて知らなかった。人が住める島なんだ。

鷹島の話は面白い話でした。長く広川町に住んでいるけれど、知らない話がたくさんあり「へー」を連発という感じでした。面白かった。

海人の存在。大昔からの人の営みが見えてくる感じでした。そのころから自然災害が繰り返され、人々は自分の生活を守るための工夫がよくわかるお話だった。

## パソコン専科 お知らせ

パソコン専科で使っているパソコンが新しくなりました。Windows 10ということで、最新のソフトを使って「できること」「やってみたいこと」を中心に、使いこなせるように勉強しています。先生に細かいところまで教えていただきながら、楽しく勉強しています。



学ぶことは楽しい。活動することも楽しい。  
ワイワイお話することはもっと楽しい！！

# 耐久大学に体験入学してみませんか？

## みんなで楽しく活動したりしましょう！

お問い合わせ 広川町民会館 TEL 63-2295

火曜日～土曜日（祝日除く） 8:30～12:00 13:00～17:00